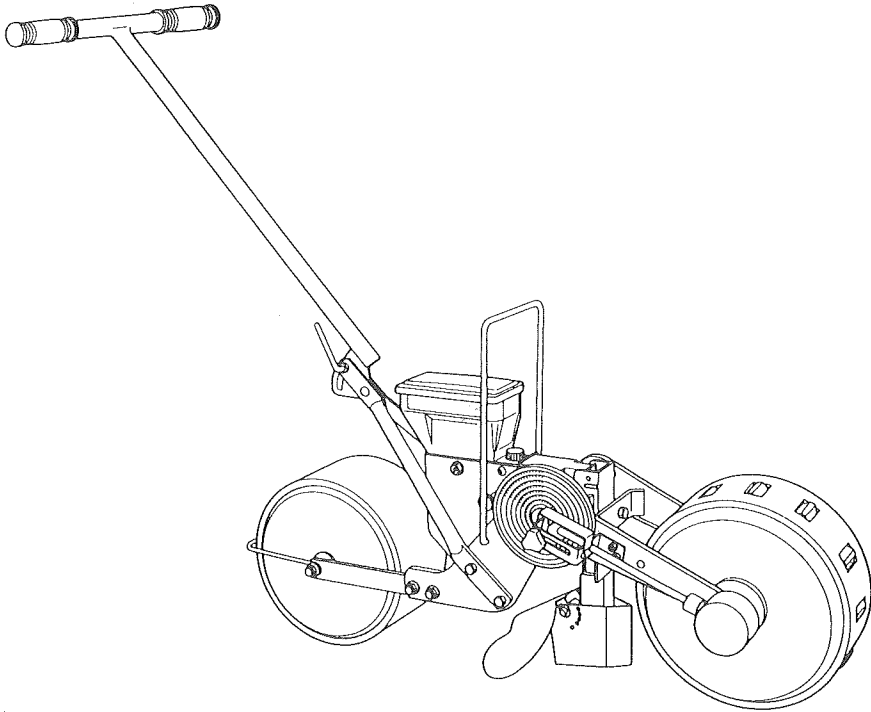


# みのる野菜播種機

ベルトエース PB-120型

## 取扱説明書



みのる産業株式会社

東京・岡山・九州

## 目 次

|                 |   |
|-----------------|---|
| 仕 様             | 1 |
| 特 長             | 1 |
| 各部の名称           | 2 |
| 組 立             | 2 |
| 注油個所            | 3 |
| 調 節             |   |
| ○ 播種間隔調節        | 3 |
| ○ 播種量調節         | 4 |
| ○ 播種深さ・覆土量の調節   | 4 |
| ○ カセットの取外し・取付け方 | 5 |
| ○ 繰出ベルトの交換      | 5 |
| 土附着防止用クッション     | 6 |
| 注 意             | 7 |
| 別売アタッチメント       | 7 |
| 繰出ベルト一覧表        | 8 |

## はじめに

この度は **みのる** 野菜播種機をお買上げ賜り、厚くお礼申し上げます。  
 本機は当社が多年にわたる経験と技術を結集して完成いたしましたもので必ず皆様のご期待にそい得るものと自負いたしております。  
 尚、ご使用前には必ず本取扱説明書を熟読せられ本機の特長、性能が充分発揮できるよう効果的にご使用くださるようお願い申し上げます。

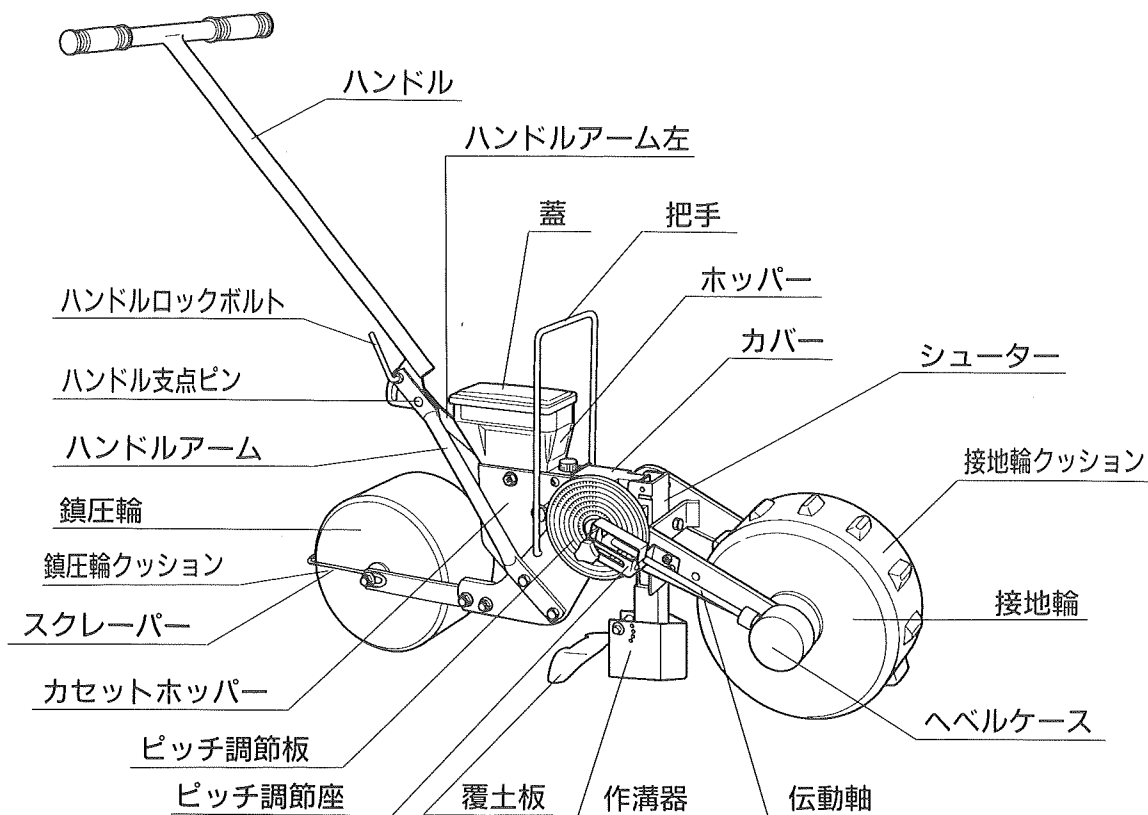
## 仕 様

|                  |   |                    |
|------------------|---|--------------------|
| 名 称              | <b>みのる</b> 野菜播種機                                  |                    |
| 愛 称              | ベルトエース  |                    |
| 型 式              | PB-120型   |                    |
| 条 数              | 1 条   |                    |
| ホ ッ パ ー 容 量      | 0.8ℓ  |                    |
| 播 種 間 隔<br>(株 間) | ベルト2列孔のとき、5・6・8・10・12・14・16cm<br>1列孔は、上記の2倍になります。 |                    |
| 種 子 繰 出 方 式      | 傾斜ベルト式  |                    |
| 重 量              | 6.6kg   |                    |
| 寸 法              | 本 体   | 長さ 79×幅 26×高さ 39cm |
|                  | ハンドル  | 長さ 100cm           |

## 特 長

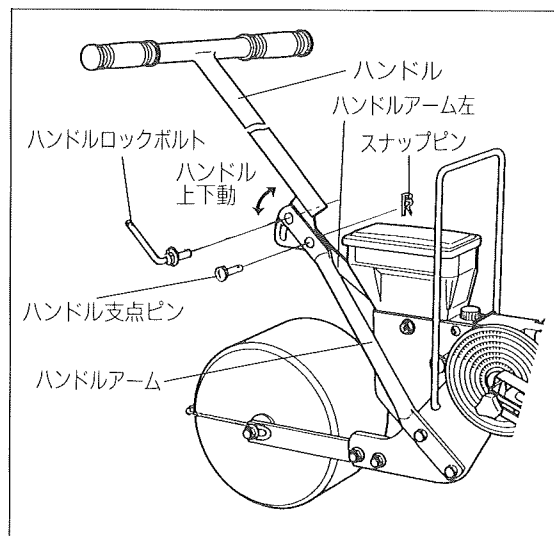
1. 一工程で作溝・播種・覆土・鎮圧ができます。
2. ベルト繰出し式のため種子を傷めません。
3. ベルト交換は工具を使用することなく簡単に行えます。
4. 播種間隔の調節はつまみでワンタッチで行えます。

## 各部の名称



## 組立

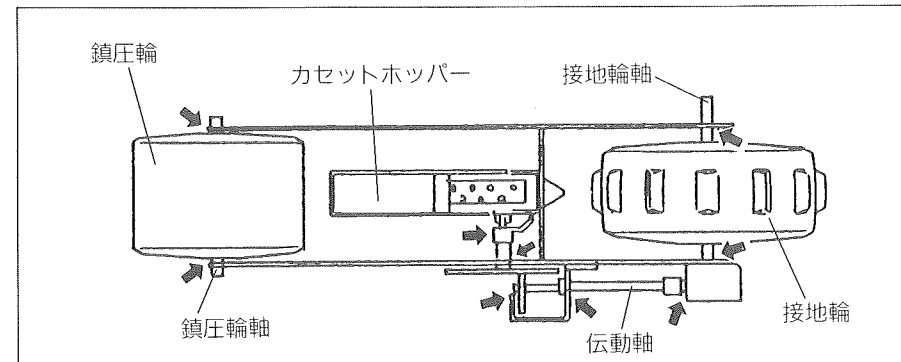
- ① ハンドルアームからハンドル支点ピン及びハンドルロックボルトを外してください。
- ② ハンドルをハンドルアームの間に入れ、まずハンドル支点ピンで止め、次に、ハンドルロックボルトでハンドルを適当な角度にして、締付けてください。



## 注油箇所

本機は、出荷時には、注油していませんから、使用前に、各回転摺動部に注油してください。

下図の矢印のところが注油箇所です。

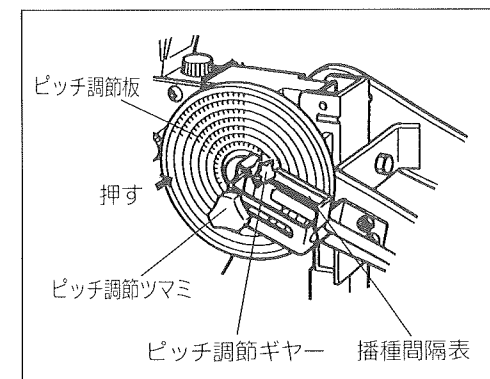


本機を上から見たときの注油箇所

## 調節

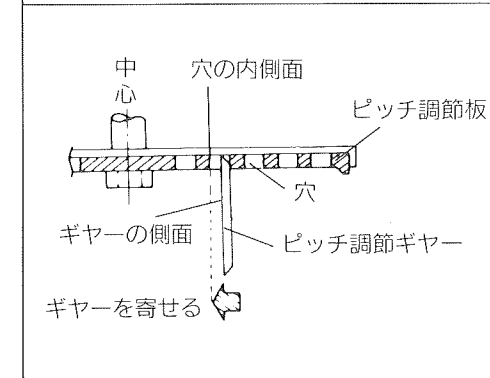
### ○ 播種間隔調節

- ① ピッチ調節板を前方へ押しつけてピッチ調節ギヤーとのかみ合いを離してください。
- ② ピッチ調節ツマミを緩め、移動して使用したいピッチ調節板の穴位置にピッチ調節ギヤーを合わせます。
- ③ ピッチ調節ギヤーの側面がピッチ調節板の穴の内側面と軽く接する位置でピッチ調節ツマミを締付けてください。



### 【注】

- 1) 播種間隔表は、繰出ベルトが2列孔のときの株間です。
- 2) 20cm以上の株間に播種する場合は1列孔の繰出ベルトと交換してください。(5頁参照)
- 3) 1列孔の繰出ベルトを使用すると、播種間隔表の2倍の株間となります。
- 4) 土壌により播種間隔が変わる場合がありますので、播種前に作溝器と鎮圧輪を浮かせた状態で本機を押して種子を落下させ、播種間隔を確認してください。



## ○播種量調節

- ① 播種時ベルト上の種子がカセットホッパー内の矢印位置程度になる様、シャッター開度を調節します。

### 【注】

- 1) シャッターを開きすぎると種子がベルトに乗りすぎて外に溢れることがあり、閉じすぎると欠株の原因となります。
- 2) 種子の種類、大きさ、乾燥状態等によりシャッター開度は異なりますので、時々確認しながらご使用ください。
- ② ブラシは繰出ベルトと軽く接した状態が標準です。

### 【注】

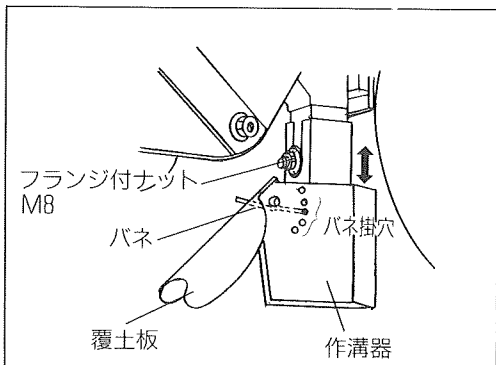
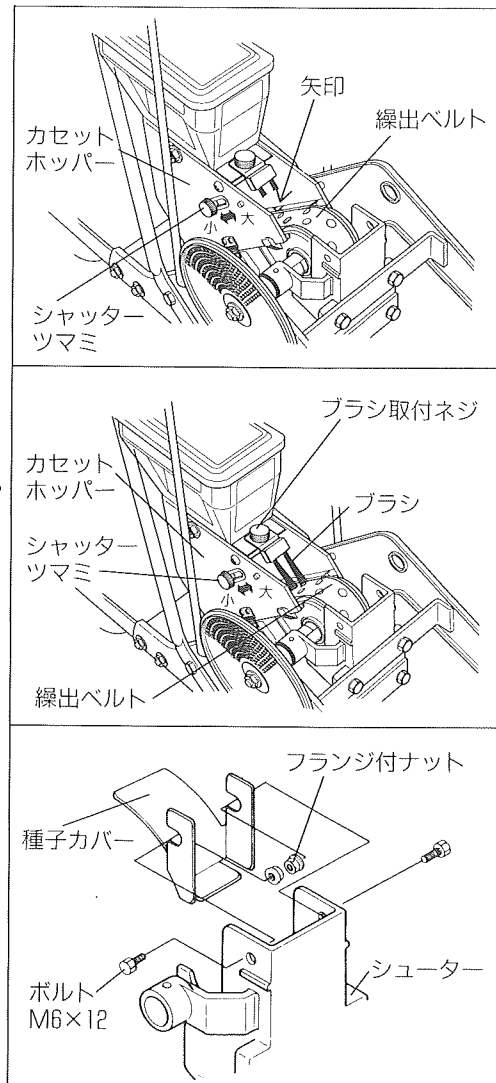
- 1) ブラシを繰出ベルトに押しつけたり離したりすると種子落下量の増減はできますがバラツキが多くなります。
- ③ シューターに左右からボルトM6×12及びフランジ付ナットで、種子カバーを取り付けると点播精度がより向上します。

### 【注】

- 1) ベルトとの隙間が均一になるよう固定します。
- 2) 種子カバーを取り付けると、カセットは取外しできません。

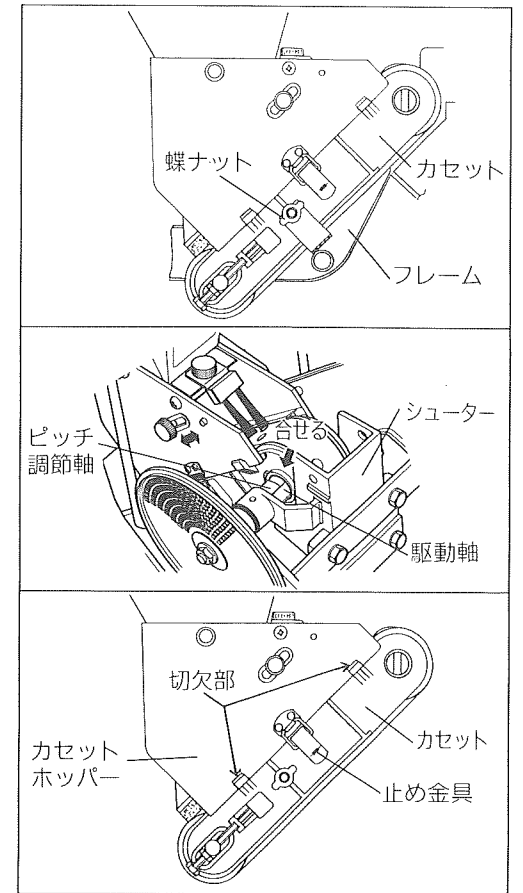
## ○播種深さ・覆土量の調節

- ① フランジ付ナットM8を緩め、希望の播種深さとなるよう作溝器を上下方向に調節し、フランジ付ナットM8を締付けてください。
- ② 覆土量を調節する時は、作溝器に5コのバネ掛穴がありますので覆土状態により適宜バネを差し換えてください。バネを上への穴に掛けるほど覆土量は多くなります。



## ○カセットの取外し・取付け方

- ① カセットを締付けている左・右蝶ナットを緩めます。
- ② 駆動軸とピッチ調節軸の矢印の切欠部分を縦方向に合せて上方へ抜きます。
- ③ 上記①、②によりカセットがフレームから取外せます。
- ④ カセットとカセットホッパーを固定している左・右の止め金具を外すことによりカセットからカセットホッパーが外れます。
- ⑤ 取付けは、カセットホッパーの切欠部をカセットに正確に挿入し、これまで外した逆の手順で行ってください。

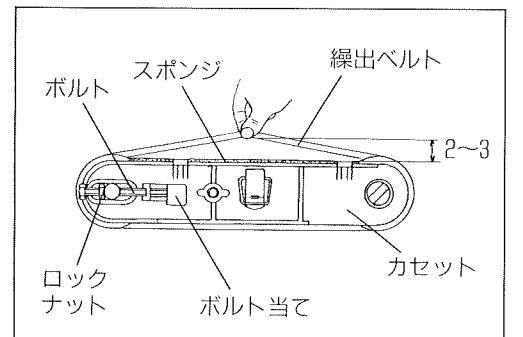
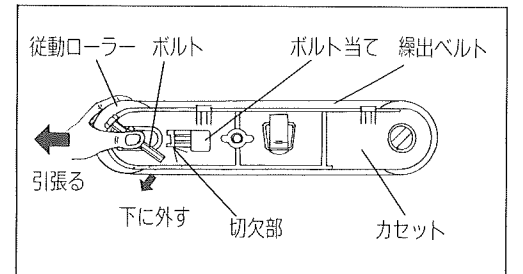


## ○繰出ベルトの交換

- ① 従動ローラーを引張り、ボルトをカセットのボルト当て(切欠部)から外し、下に向けます。
- ② 従動ローラーを前に寄せ繰出ベルトを外します。
- ③ 使用する繰出ベルトを掛け、従動ローラーを張り、ボルトをボルト当て(切欠部)に合せます。
- ④ 繰出ベルトの張りは、繰出ベルトを持ちスポンジから2~3cm離れる程度にボルトを調節し、左・右同じ長さに合せ、ロックナットで固定します。この時、スポンジの間に繰出ベルトが入っていることを確認してください。

### 【注】

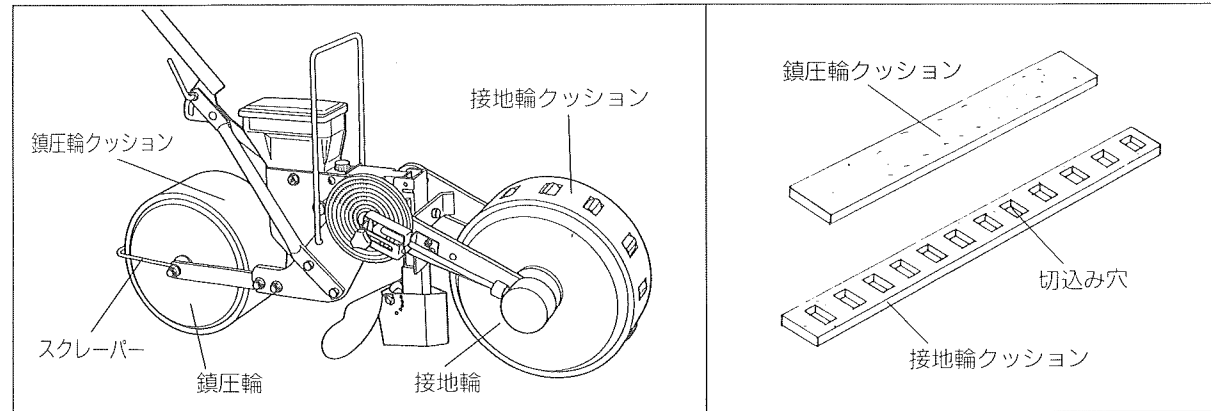
- 1) 保管時はボルトをカセットのボルト当てから外し、繰出ベルトを緩めて(①の状態)おいてください。
- 2) 同時にブラシ取付ネジを緩め、ブラシが繰出ベルトに接しないようにしてください。(4頁参照)



## 土附着防止用クッション

本クッションは鎮圧輪及び接地輪に貼付け降雨後等の播種時、土が車輪に附着することを防止するために使用しますので播種前に車輪に貼付けてから播種作業を行ってください。

### 1. 各部の名称



### 2. 貼付方法

- ① 各クッションの裏に貼付けている紙をはがしてください。
- ② 鎮圧輪に貼付ける時は鎮圧輪の端にクッションをそわして鎮圧輪を矢印の方向に廻しながら、クッションを軽く押しつけて貼付けてください。
- ③ クッションを貼付けてクッションの端と端は少し重なるので押し込んでスキができないようにしてください。
- ④ 接地輪に貼付ける場合もクッションの切込みをラグの中に入れてながら鎮圧輪と同様に行ってください。

### 3. 除去方法

- ① クッションの貼付面は接着テープなので痛みがひどくなり土の附着防止効果がなくなった時はクッションの端から少しずつはがしてゆき、クッションと接着テープを分かれさすことのないようはがしてってください。

### 4. スクレーパーの取付

- ① 土質により鎮圧輪クッションの土附着防止効果が十分発揮できない時は、スクレーパーを取付けてください。

#### 【注】

- 1) 貼付時強く引張ると破れる恐れがあるので強く引張らないでください。
- 2) クッションの保管は直射日光の当たらない所にしてください。

## 注 意

1. 濡れた種子はホッパーに入れないでください。
2. クッション等の異常摩耗及び播種ムラの原因となるのでホッパー内に種子と農薬等を混ぜて播種しないでください。
3. 毛付にんじん、芽出しほうれん草、等絡み合うものは播種ムラが出ますから使用しないでください。
4. 種子の繰出が均等に行なわれているか時々点検してください。
5. 繰出ベルトがゴミ等で詰まっていないか時々点検してください。
6. 播種スピードが早過ぎると精度が低下します。適正スピードは0.5m/秒です。特に、レタス、人参等軽い種子はゆっくりと播種してください。
7. 接地輪、鎮圧輪に土が附着するのを防止するクッションを付けています。
  - ① クッションが傷ついて、土が附着するようになったら貼り換えてください。
  - ② 使用後はクッションに附着した土をよく洗い落とし、クッションが変形しないよう鎮圧輪を浮かして保管してください。

## 別売アタッチメント

1. 広巾播装置(7~12cm巾調節式バラマキ用)
2. 施薬装置(播種同時施薬で省力)
3. マーカー(条間揃え)
4. 複条播装置(条間10~15cm調節式)
5. 狭巾鎮圧輪(鎮圧巾8cm)
6. 狭巾鎮圧輪クッション(土附着防止用)

## 繰出ベルト一覧表

| ベルト番号 |     | 適応作物       | 1孔の繰出粒数  | ベルト番号 |     | 適応作物           | 1孔の繰出粒数 |
|-------|-----|------------|----------|-------|-----|----------------|---------|
| 1列孔   | 2列孔 |            |          | 1列孔   | 2列孔 |                |         |
|       | 03  | 小カブ<br>小松菜 | 3~4      | 06S   | 06  | ほうれん草(丸)<br>大根 | 3~4     |
| 04S   | 04  | カブ         | 5~6      | 07S   | 07  | ほうれん草(丸)       | 4~5     |
|       |     | カブ(飼料)     | 4~5      |       |     | 大根             |         |
|       |     | 白菜         | 3~4      |       |     | 春菊             | 6~7     |
|       |     | キャベツ       |          |       |     | アスパラ           |         |
|       |     | レタス        |          | 08S   | 08  | ごぼう            | 2~3     |
|       |     | 人参(毛なし)    |          |       |     | ほうれん草(丸)       | 6~7     |
|       |     | ネギ         | 春菊       |       |     | 8~9            |         |
|       |     | ニラ         | アスパラ     |       |     |                |         |
| パセリ   |     | 09         | ほうれん草(角) | 4~5   |     |                |         |
|       | 05  | 人参(毛なし)    | 5~6      |       | 09  | 人参(毛付)         | 6~7     |
|       |     | ネギ         |          | 10    |     | そば             | 3~4     |
|       |     | ニラ         |          |       |     | ほうれん草(角)       | 5~6     |
|       |     | パセリ        |          |       |     | 人参(毛付)         | 7~8     |

1. ベルト番号はベルト表面にあります。
2. 上表の1孔の繰出粒数は標準的な目安を示すもので地域・品種により多少異なりますので、播種前に、そのベルトが適当かどうか確認の上使用してください。
3. 繰出ベルトの注文はベルト番号でお願いします。



## 実業株式会社

本社工場 〒709-0892 岡山県赤磐郡山陽町下市447  
TEL.(08695)5-1122(代) FAX.(08695)5-5520

東京支店 〒330-0826 大宮市大字南中野247  
TEL.(048)683-9451(代) FAX.(048)683-9452

九州支店 〒818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡1020-1  
TEL.(092)921-6006(代) FAX.(092)921-6008